

会議・視察報告

TIET Conference 2015参加について

ERINA 調査研究部主任研究員 中島朋義

6月1日、台湾台北市の国立台湾大学で開催されたTIET Conference 2015に参加した。同コンファレンスは、台湾の国立台湾大学農業経済学系、韓国の仁荷大学校静石物流通商研究院、日本の富山大学極東地域研究センターとERINAの4者(TIET)によって、年に一回、持ち回りで開催している学術会議である。昨年は富山大学のホストにより富山市で開催されている。

今回はERINAから中島とエンクバヤル主任研究員の二名が報告者として参加した。

エンクバヤル主任研究員からは“The Marginal Welfare

Burden of Mongolia's Tax System”と題して、応用一般均衡(CGGE)モデルを用いたモンゴル経済のシミュレーション分析の結果について報告を行った。

私は“China's FTA policy and TPP”と題し、中国のFTA政策とTPPをはじめとするアジア太平洋地域における広域経済統合の動きについて報告を行った。

四つの研究機関はそれぞれに特徴を持ち、学術的な研究領域も少しずつ異にしているが、そこから受ける刺激もまた有意義と考える。今後とも研究協力と交流の機会を持っていきたい。



(出所)筆者撮影



(出所)筆者撮影